

会員が異なった方向に進もうとすると、グループで歌うことはしばしば会員を再集結させる最良の方法ということで、歌うことが定着していったと書かれています。日本にも独自のロータリーソングをということで、「奉仕の理想」と「我等の生業」の誕生について書かれています。戦時中の1935年に京都の地区大会にて生まれています。戦時中にロータリーは「非国家的存在」と誹謗され、それに屈しないように国家観念の協調をするために1933年には例会で国家の斉唱もはじまりました。戦後、新しい日本にふさわしくもったくだけたやわらかい歌がほしいということで、「手に手つないで」がつくられたとのことでした。



例会のスタートを皆で歌を歌い、唱和をするということは、マインドリセットにもなりますし、明るく元気に例会に入っていけるととても大きな効果がありますよね。さらに、クラブ独自の歌があることで、横組 P.10 各ロータリークラブにオリジナルのロータリーソングの紹介があります。我がクラブにもすてきなソングが生まれることを楽しみに、といったところでしょうか。

P.28 大阪・関西万博には皆さま行かれたでしょうか？2660 地区もパートナーとして参画しています。余談ですが、私が生まれた1970年に大阪万博があったのですが、この万博のハクの字をもらって私の名前につけたとのこと。

P.39 さて、いよいよ来ました！キム・リャンヒさんの投稿が掲載されました！世の中に貢献する素晴らしい人材となっていただけことを祈っております。

縦組

P.4 文明と文化がいかに世界平和につながられるかについての基調講演が掲載されています。この中で、日本文化の特徴が触れられており、日本文化とは、①自然との一体感、②あいまいさの受容、③目に見えないものの価値の認識、④自己抑制、慎み、全体の中の個と表現されています。世界から理解に難しいとされる我が国の文化特徴が、逆に神秘的かつ畏怖あるものとして世界から注目されています。日本が世界を変える思想の源泉になることを祈っています。

年度総括

長期計画推進特別委員会 委員長 **内山 泰成**
長期計画は3年ごとに見直しをしています。今年はその3年目に当たりますので、来年以降の計画を練り、新たな3年間の戦略計画を策定いたしました。素晴らしいものになったかと思えます。1年前に亡くなられた荒井伸夫会員も参加してくださっていました。荒井会員への思いも込めて作りました。



ラーニングファシリテーター **伊田 雄二郎**

私の外、6名のバスト会長で構成されたラーニングチームにおいて、2024年8月26日に18名の新入会員者を対象に「今日からロータリアン」を教材にしてロータリーの歴史や基本理念を始め基礎知識の講習会を開催しました。



管理運営担当理事 **関根 正也**

部門としては準備期間のないまま、手探りのスタートとなりましたが親睦交流委員会の平野委員長に委員の皆さんをしっかりとリードして頂き、何とか次週の最終例会を迎える事が出来ました。



特に親睦交流では予算が限られる中、少しでも皆さんに楽しんで交流頂ける様に「音楽」「踊り」を中心に参加型の趣向を凝らしたものに出来たと思っております。外部卓話では「スポーツ」を通じ、人の育て方を学べる内容で野球、相撲、柔道と興味深いお話を頂けたかなと思っております。本年度は担当委員会だけでなく、管理運営部門全員が協

力して運営し、部門の中でも会員同士の親睦、交流が図れ、さらにチームの力を感じた一年間になりました。一年間、ありがとうございました。最終夜間例会も、皆様のご出席よろしくお願い致します。

プログラム委員会 委員長 **土屋 隆弘**

親睦交流委員会 委員長 **平野 友紀**

親睦は親睦例会と親睦交流の2委員会でしたが、親睦例会の委員長佐藤淳也さんの榮転により、親睦交流委員会1つで親睦事業を担うことになりました。

ですが、今年の管理運営部門は、部門全体で協力しあって事業を行いました。出席、プログラムの委員会の皆様にも事業に参加していただき、部門委員会も8回開催いたしました。部門で動いたことが、親睦の全事業も遂行することができ、委員会活動でも親睦が図れて、とても良かったと感じています。会員の皆様に喜んでもらえるように1年間活動いたしました。委員会の皆様への協力には感謝しています。



出席委員会 委員長 **福田 美香**

公共イメージ担当理事 **荒井 理人**

会長より、一般誌などにも我々の事業をお知らせしてほしいと言われていましたが、「ロータリーの友」に掲載していただくのが精いっぱいでした。一年間、ありがとうございました。



広報委員会 委員長 **永井 博**

クラブ内外への当クラブの活動を発信という方針で、主に「ロータリーの友」への出稿について鋭意取り組みました。当クラブの5つの取組みを厳選させていただき出稿（野球部の甲子園出場、剣道部の活動、ラオフレンズ病院式典への参加、米山奨学生金亮希さんの活動、女子部会の朝の清掃活動）しまして、そのうち3つが当年度内のロータ友に掲載され、我がクラブの活発な活動状況を広報することができました。執筆にお力添え頂いた皆様に感謝致します。



クラブ会報委員会 委員長 **島袋 祥子**

この一年、週報に掲載する写真撮影を担当し、皆様の自然な表情ややかな雰囲気、そして週報になるべく多くの方に写っていただけたよう心がけました。週報の写真は、クラブ活動の記録であると同時に、皆様の笑顔や情熱を伝える大切な記録でもあります。撮影の際にはリャンちゃんやモーちゃんに快くサポートして頂き本当に助けられました。またご協力頂いた皆様にも心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



会員増強維持担当理事 **新藤 栄介**

思い起こせば3年前の60周年小沢年度から藤嶋年度、そして小林又次郎年度と3年間会員増強担当理事として集大成で望んだ今年度、会員数114名でスタートして新規入会者8名、会員交代5名の13名の入会者を迎え、一時はコロナ前の会員数120名の大台にやっと戻した時期もありました。

しかしながら、石三重則会員と齊藤貴会員お二人のご逝去、そして年度末の今月6月に会社都合により残念ながら6名もの会員様がクラブを離れる事となり、今年度の退会者の合計は14名となってしまいました。今年度の実績は13勝14負で、年初のマイナス1の会員数113名で終わる予定です。

しかし、現在入会手続きを進めております入会予定者も居て、横溝年度の初例会では2名の新会員の入会式を予定しており、次年度へのバトンを渡す事も出来ました。私の在職中の3年間、会員増強維持にご協力頂いた全ての会員の皆様に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

